

流出防措置指針の取り組み状況に関する調査票の記載要領

①指針の内容について

指針内容は下記のホームページ、又はインターネット「G高-002 液化石油ガス容器置場における容器転落・転倒及び流出防止措置指針」で検索し「液化石油ガス容器置場における容器転落・転倒及び流出防止措置指針と【補足】流出防止対策実施のポイント解説」を確認して下さい。

http://www.nichidankyo.gr.jp/technology/standard/g_kou_002.html

②ハザードマップを確認し該当するリスク

該当するリスクの確認は、下記の国土交通省のホームページ、又はインターネット「国交省ハザードマップ」で検索し、充填所の津波や洪水による浸水の想定高さ等を確認し、該当する項目を選択して下さい。（※複数回答可）

<https://disaportal.gsi.go.jp/>

※国交省ハザードマップの他にも市町村や河川管理事務所でもハザードマップを作成している場合があります。予想浸水度が異なる場合は、より厳しい予測をもとに対策をお願いします。

③対象となる容器置場のリスク区分の調査の結果について

容器置場のリスク区分については、下記の定義を基準に、該当する区分の項目を選択して下さい。

リスク区分の定義

高リスク区分	容器置場の周囲が壁構造、又はシャッター構造又は金網構造等を有しておらず、浸水予想水位が敷地外への流出が予想される高さである。
中リスク区分	容器置場の周囲が壁構造、又はシャッター構造又は金網構造等を有しておらず、浸水予想水位は一定程度あるが、充填所等の外壁未満で敷地外への流出は想定されない
低リスク区分	浸水予想水位が0mである。又は浸水予想水位はあるが、容器置場の周囲が壁構造、又はシャッター構造又は金網構造等を有している。

③で「高リスク区分」に該当された場合は、④～⑥についても、ご回答下さい。

④流出防止対策の実施状況及び予定について

該当する項目を選択して下さい。

- ・ 1～4 を選択された場合は、年の記載をお願いします。（例 2021 年実施予定）
- ・ 5 を選択された場合は、質問項目以外の流出防止の措置内容を「その他の内容欄」に記載して下さい。
- ・ 6 を選択された場合は、理由を必ず「理由欄」に記載して下さい。

⑤容器台帳の管理について、事務所の容器台帳（電子データ含む）のリスク対策について

該当する項目を選択して下さい。なお、本質問は、浸水時に容器が流出した際に容器台帳も水没し、流出した容器の本数等のデータが不明なることを防ぐために、指針では、容器台帳の破損の恐れのある場合や、二元管理、緊急時の持ち出しができる台帳管理を要請しています。

⑥災害時の緊急連絡先（警察、消防・行政機関等の連絡先）の作成について

該当する項目を選択して下さい。緊急連絡先について、最寄りの警察署・消防署、所管行政庁、LPガス協会の連絡先が記載されていれば、作成していると見なします。

また、作成していても、近年（3年を目途）に緊急連絡先を見直してない場合は、最新の情報ではありません。